

令和5年（2023年）の噴火浅根の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。

海上保安庁が5月及び6月に実施した観測では、変色水が認められましたが、9月に実施した観測では顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした。

○ 噴火警報・予報の状況、2023年の発表履歴

9月21日11時00分	噴火予報を発表し、噴火警報（周辺海域）から噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げ、火山現象に関する海上警報を解除しました。
-------------	------------------------------------------------------------------

○ 2023年の活動概況

気象衛星ひまわりによる観測では噴火は認められませんでした。

海上保安庁が5月11日及び6月14日に実施した上空からの観測結果によると、噴火浅根付近に変色水が認められました。海上保安庁が9月20日に実施した上空からの観測結果では、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした。

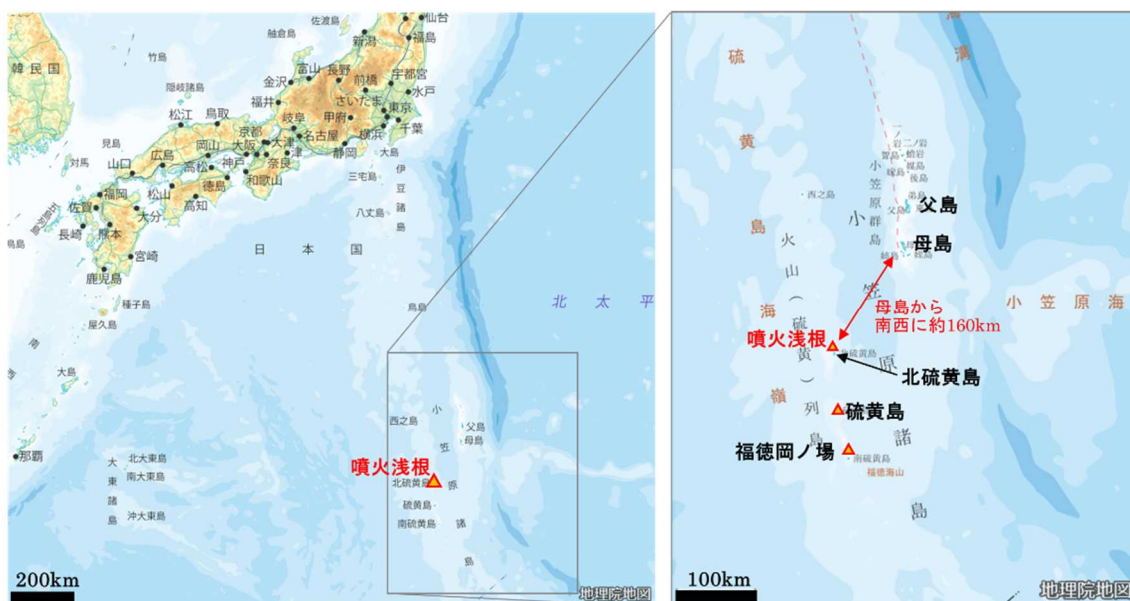


図1 噴火浅根 位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、海上自衛隊、海上保安庁及び第三管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

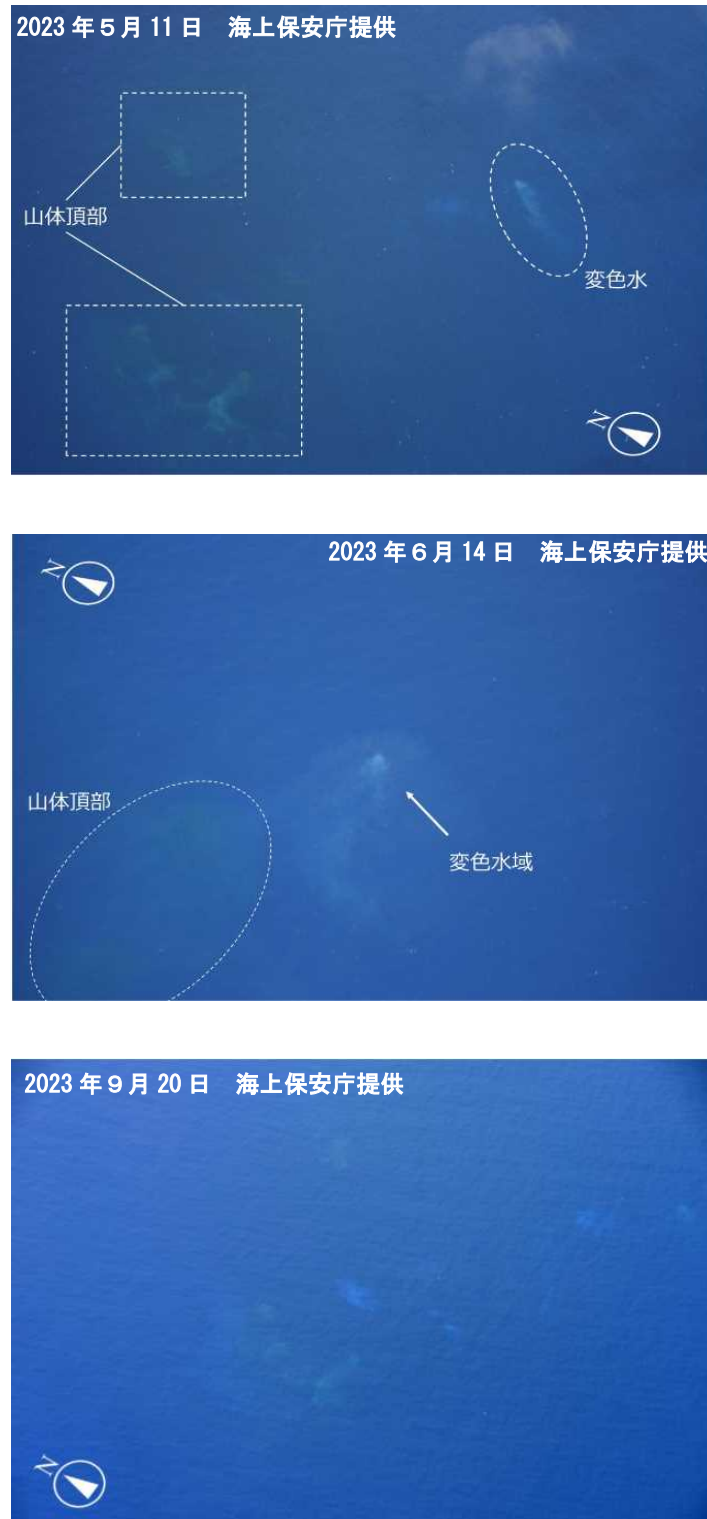


図2 噴火浅根 海上保安庁による上空からの観測結果

- ・(上図) 5月11日には、噴火浅根付近に長さ約200mの青白色、黄白色の変色水が認められました。
- ・(中図) 6月14日には、噴火浅根付近に直径約50mの青白色の変色水が認められました。
- ・(下図) 9月20日には、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められませんでした(写真には海底地形が青白く見えています)。

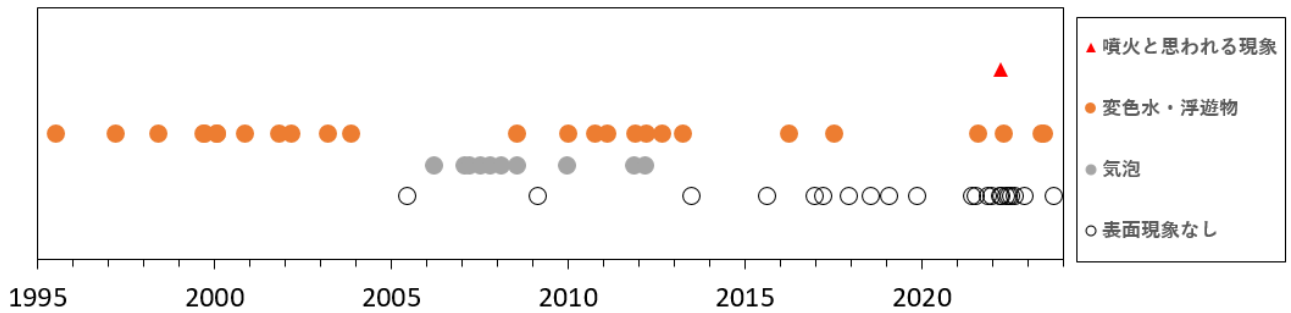


図3 噴火浅根 1995年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲は噴火と思われる現象（気象衛星ひまわりによる観測）、●は変色水及び浮遊物の分布が認められた観測、●は気泡の湧出が認められた観測、○は変色水等を含め特段の表面現象が認められなかった観測を示します。
海上保安庁及び海上自衛隊の観測による。

- ・2022年3月27日から翌28日にかけて噴煙と思われる雲域が観測されて以降、噴火及び噴火によるとみられる浮遊物等は認められていません。
- ・海上保安庁が2023年5月11日及び同年6月14日に実施した観測で、噴火浅根付近にそれぞれ長さ約200m及び直径約50mの変色水が認められたものの、顕著な変色水は認められていません。